

科 目 名
航空機性能運動・実習Ⅱ
Aircraft maneuvering & performance II

3年 後期 2単位 選択  
 廣中俊生  
 上野正史・東碩美  
 菊地靖之・内布貴士  
 甲斐義啓・千馬浩充

## 概 要

航空機は時代の最先端技術が結集された総合システムの工業製品である。この高度な技術を理解し活用できる技術者となるため、「航空機性能運動・実習Ⅰ」に引き続き飛行機・ヘリコプターの実機及び大型シミュレーター並びに教材によりその構造、機能、取扱要領を習得するとともに、安全教育のうち飛行試験により性能・特性のデータの記録・解析・評価を体得させる。

また、飛行場施設及び航空保安施設の概要についても説明する。

## 目 標

- 1) 航空機の構造、機能、取扱要領を習得する
- 2) 飛行試験データの記録・解析・評価について習得する
- 3) 飛行場施設・機材と航空機の運航・管制についての知識を習得する

## 授業計画

テ　マ	内　容
① オリエンテーション	実施要領（班分け、日程、場所、移動方法等）の説明
② 基礎教育Ⅰ	飛行機の安全教育
③ 基礎教育Ⅱ	回転翼航空機の基礎教育
④ 安全教育	地上安全、飛行安全、運航安全、緊急時の対応
⑤ 航空機の基礎知識	基本的構造、各計器類の説明
⑥ 飛行試験要領	試験方法、計測要領
⑦ データ処理要領	記録要領、解析法
⑧ 模擬飛行実習Ⅰ	航空機飛行特性（片肺飛行時の飛行体験等）
⑨ 模擬飛行実習Ⅱ	航空機飛行特性（横風時の飛行体験等）
⑩ 飛行実習Ⅰ	飛行機によるフライト実習、試験記録、解析作業
⑪ 飛行実習Ⅱ	回転翼航空機によるフライト実習、試験記録、解析作業
⑫ 航空機の運航Ⅰ	航空保安業務の内容
⑬ 航空機の運航Ⅱ	航空路、空域、航行援助施設
⑭ 飛行場施設	管制施設、消防施設
⑮ 飛行場施設の見学	管制施設、消防施設

## 授業方法

受講者を飛行実習、模擬飛行実習、座学の三班に班分けし、該当する班の授業終了後、順次他の班に移行するため、上記の授業計画順には進まない場合がある。

授業は主に空港キャンパスにおいて実施する。

(注：天候等の理由により、飛行実習が行えない場合、また、管制施設等の見学も空港事務所等の都合により、実施できない場合もある。)

## 学習到達度の評価

- ① 授業中に、適宜、受講者に質問等を行い、その理解度をチェックする。
- ② 授業の最後に試験等を行い、総合的な評価を行うとともに、今後の授業の参考とする。

## 評価方法

出席状況、実習態度、レポート内容及び筆記試験等により評価する。

## 教 材

プリント、その他。